

第 12 回香取市地域公共交通協議会会議録

会議の名称	第 12 回香取市地域公共交通協議会	
開催日時	平成 25 年 3 月 21 日 (木) 14 時 00 分から 15 時 25 分まで	
開催場所	香取市役所 (本庁) 7 階全員協議会室	
議長氏名	香取市地域公共交通協議会会長 八木 貴弘	
出席者氏名	別紙 1 のとおり	
欠席者氏名	別紙 1 のとおり	
事務局氏名	別紙 2 のとおり	
会議事項	1 議題	2 会議結果
	(1) デマンド交通の試行導入について (2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について	(1) 第 11 回協議会で提示した原案の修正案を事務局から提示し、修正案を可決 (2) 原案のとおり可決
会議の経過	別添 (会議経過) のとおり	
会議資料	① 資料 1 「デマンド交通の試行導入について」 ② 資料 2 「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」 ③ 参考資料「アンケート調査結果」 ④ 追加資料「アンケート調査結果によるデマンド交通試行導入方針の修正案」	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
平成 25 年 4 月 12 日	議 長 八木 貴弘	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局 八木会長	<p>1 開会</p> <p>【配布資料の確認】</p> <p>2 あいさつ</p> <p>あらためまして皆さんこんにちは。香取市の副市長の八木でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、大変お忙しいところ、また年度末で何かとお忙しいところ、この時期に本協議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。この協議会も順次回を重ねて参りまして、今日は12回目ということになってございます。前回、1月22日の協議会で、この協議会の位置付けを道路運送法上の交通会議の位置付けを持たせたいということで規約の変更をさせていただきました。そういった意味では今回がその最初の協議会となるということでございます。本日お越しいただいておりますけども、千葉交通労働組合書記長の飯田委員、この規約変更に伴いまして今回から新たに参加していただいております。ありがとうございます。また、人事異動に伴いまして、香取警察の交通課長の高橋委員がまた今回から新たに参加していただいております。ありがとうございます。お二人ともお忙しいところ、こころよくお引き受けいただきまして、厚く御礼を申し上げます。</p> <p>さて、本日の協議会の議題でございますが、議事次第にありますとおり二つほど予定をしております。一つ目がデマンド交通の試行導入についてということで協議でございます。前回の協議会で、この試験的な導入についてこれまでずっと検討をしてきましたけれども、それについての市の基本的な考え方と運行イメージの案をお示しさせていただきましたが、その後市民の方々、そして今循環バスに乗ってらっしゃる方々にアンケート調査を実施しまして、その結果がおおよそまとまりましたので、その結果を踏まえまして今日皆さま方からご意見を頂戴したいなと思っております。それがまず一点です。それからもう一つの議題としましては、現在、小見川の循環バスにつきまして国の補助事業の支援を受けておりますけれども、今回、国に提出するその事業評価、補助を受けて事業をやっているのはどうであるのかということで、それを国への提出にあたりまして協議させていただきたいと、そういう中身でございます。</p> <p>今回も皆さま方から忌憚りの無いご意見やご提案を頂戴したいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、早速ですが議事に入らせていただきたいと思います。本協議会規約第7条第1項の規定によりまして、会議の議長は会長となりますので、これより会議の進行を八木会長の方にお願ひしたいと思います。</p>

議 長	<p>す。よろしくお願ひいたします。</p>
議 長	<p>はい、それでは議事の方を進めさせて頂きますので、よろしくお願ひいたします。</p>
議 長	<p>3 議事 (1) デマンド交通の試行導入について</p>
議 長	<p>それでは早速ですが、議事の(1)デマンド交通の試行導入について、事務局より説明をお願ひいたします。</p>
事 務 局	<p>【(1) デマンド交通の試行導入について説明】</p>
議 長	<p>ありがとうございました。ただいま、事務局からアンケートの結果などについてのご説明を頂戴いたしました。前回の協議会で、市の案と言いますか、方向性と言うか、たたき台と言うことで、例えば佐原の北佐原・新島ルートエリアと、それから小見川の東南ルートエリアでデマンド交通、乗合タクシーを導入してはどうかと。それについてアンケートをとって見たらどうか、と言うことでお話をさせて頂いて、実際にアンケートをとったと。とった結果がこういう結果であったというご説明であります。アンケート結果をどう捉えるのかと言うのは中々難しい面が正直言って色々ありますが、市の方では今、ある意味意外と言いますか、これは少し心して検討しないといけないな、と思った点があるかと思っております。先ほど事務局からご説明がありましたとおり、まず実際今バスに乗っている方々に、乗合タクシーを今度こういうものを検討しますけれどもどうですか、と聞いたところ、アンケートがよくわからないから乗合タクシーもわからないとか、あるいはややこしくなるなら乗らない、という答えがある程度出てくるというのは想定はしているのですが、円グラフをご覧いただきますと、佐原の方がですね、1ページの円グラフですが、北佐原・新島ルートエリアの方々、そういう風になるならちょっと乗らないと言った人が半分を超えていたという点がございました。ただこの数字の見方もなかなか難しく、じゃあなぜ利用しないのですか、と聞くと、予約する手間があるとか、今のバスのままで十分じゃないのかというご意見だったりもするので、積極的にどうしても嫌だということなのか、それとも慣れてくれば変わってくるのか、というのは少し読み方が難しいところではあるのですが。そうは言うものの、不明の方も合わせると6割を超える方々が利用しないよと、佐原の方では答えられたというのが一つあります。</p> <p>それから次にですね、今乗っている人はバス停が自分の家の目の前にあるから乗りやすいから使っているんだという方が多いと仮にしても、じゃあ、今バスが不便だから乗れないけれども乗合タクシーにしたら乗るよ、と言う方がもっと大勢いらっしゃるんじゃないかと言うような観点も併せて考えますと、2ページの円グラフですが、潜在的交通弱者、要するに、今はバスに乗っていないのだけれども免許を持っていないので何等か交通の手段に困っておられるであろうと</p>

いう方々にアンケートを取ったところ、これもやっぱり先程と少し似たような傾向で、小見川の方はそういう新しい交通手段があれば乗るよ、利用したいよという方が4割弱いらっしやったのに対して、佐原の北佐原・新島ルートエリアの方はもう少し少なくて、4人に一人ぐらいだったというような関係であったということをございます。さらに、じゃあ自分でマイカーを持って普通に運転しているから公共交通は乗らないよ、と言う方が実際のところ住民の多くの部分を占める訳ですが、そういった方々にアンケートをとると、3ページの円グラフですけれども、乗合タクシーを利用しませんよという風になるのは当然だとしても、じゃあ何で利用しないのですかという点に対して、回答は2つ選んでもらうというアンケートだったのですけれども、一つは自分はマイカーを持っているしバイクの方が便利だからという答えが多い。半分。要するに二択で一つはこれを選んだと。多くの方が一つの理由としては今マイカーがあるからだよと、選んだのは当然だと思うのですが、もう一つの答えとして何を選んだのかと言う観点でいうと、税金を今のバス以上に使うべきではないよと答えた方がかなりの数いらっしやったと言う辺り。この辺りをどう捉えていくかと言うのが中々悩ましいな、と言うところであったかなと思います。そこで前回ご説明した2ルート2台ずつの4台で乗合タクシーを運転したらと言うことでのアンケートだった訳ですが、今回のアンケート結果を踏まえてですね、ではどういう風にしていったら良いだろうか、と言う点について皆さま方にご議論をいただければと思います。

それでは、アンケート結果の中身の詳細に対するご質問ですとか、あるいはこういった地域の足の確保をどう考えていくかとか、将来的なことを見越したりとか、あるいは住民の中にも色々な方がいらっしやるのでそういった点を踏まえてのご提案だとかご意見だとか、そういったものを頂戴できればと思います。

いかがでございますでしょうか。

では、岩崎さんお願いいたします。

岩崎副会長

会長が言われた点と同様でございます。コミバス等については交通弱者の皆さんの足の確保と言うのがまず第一義になくはないけれども、それに代わる足としてデマンドを考える時に、資料1の1ページで佐原地区の方が不明も入れて62～63%の人がデマンドを利用しないというようなことになると、この方々の足が全く確保されないのかな、ということが非常に心配で、さらに将来的に乗っていただけであろうという免許を保有しない方についても佐原地区では71%の方が使わないよというところがございます。そうすると、これを直ぐにこの地域で導入するのは非常に不安だなと思います。他のところの回答でもクロスの見えていくと、使いつらいですとかですね、まだ更にPRをしていけばご理解をいただけるのかな、という点の含みを入れたとしても現時点で導入していくのはどうかなというところがアンケートを見ると心配でございます。もう一つは前回の会議でも申し上げましたが、この所では路線バスが近隣で走っておりますので、交通事

議 長	<p>業者さんへ与える影響と言うのもございます。と言うことで、佐原地区についてはちょっと慎重にご判断をいただけたらなと思っております。以上でございます。</p>
菅 井 委 員	<p>ありがとうございます。 今、岩崎専門官から数字を挙げてのご指摘をいただきました。実は市の方でもですね、これはちょっと佐原でそのまま続けて大丈夫なのだろうか、と言う点で少しどうしたものかと思っているところでございます。この点も踏まえまして、皆さまいかがでしょうか。はい、どうぞ。</p>
菅 井 委 員	<p>住民一般について、この円グラフの他に佐原と小見川の比較データはないのでしょうか。</p>
議 長	<p>では、事務局の方でデータをもう少し詳しく説明してもらえますか。資料の方で・・・。</p>
菅 井 委 員	<p>要するに、1番2番の調査、交通弱者と潜在的弱者については小見川と佐原の比較ができていますのですけれども、一般的なこの3番目の住民一般に対して、それぞれ小見川と佐原でどういう傾向の違いがあるかと言うのは採れないですか。</p>
事 務 局	<p>はい。厚い資料の方の6ページ目をご覧いただければと思います。こちらに単純集計としまして掲載させていただいておりまして、佐原地区・小見川地区・総計と円グラフではないですけれども、横型のグラフになっておりますがこちらが住民の方一般の地区別の統計となっております。あえて円グラフで挙げませんでしたのは、免許の保有率が8割あると言うことで何れにしましても利用しないという回答が圧倒的に多いですので、その部分につきましては掲載するまでもないのかなと思ひまして本資料の方ではちょっと省略させていただいておりました。佐原と小見川で特に傾向の違いはそれほどないのかなと見ております。以上です。</p>
議 長	<p>ちょっとこの図が字が小さくてわかりにくいですが。</p>
菅 井 委 員	<p>ちょっと気になるのが、税金を使うべきでないというのが両方通すと13.6%なんですけど、これはこの表で見るとどの部分になるのですか。</p>
議 長	<p>はい、これ6ページの下の総計のところ、13.6%が税金の投入に対して批判的な意見だから、そうするとここだけ見ると小見川の方がその比率は高いということですね。 ただ、このアンケート自体が回答数の問題だとか色々あるので、細かく分けていくと比較が中々難しい部分もあるかなと思います。</p>
菅 井 委 員	<p>要するに、佐原の地区の人は公共に頼るよりは自分でやれているのでという志向が強いという感じなんですかね。結局、将来自分たちが困るんだらうけども、そこまで行政側の公共交通に依存する感覚がやはり地域性としてないという。地域</p>

	<p>性と言いますか、何かそんな感じがしますかね。どうなんでしょう。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい。その点、事務局いかがでしょうか。まあ、元々バスがどうであったとか、地域の足がどうであったとか、どこへ行くような交通のニーズがどれくらいあるかとかいうのにも因ってくるかと思いますが、その点いかがでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>はい。北佐原・新島ルートにつきましては元々バスとかが走っていた地区ではなくて、単純に今バスが走っているだけでもありがたいという感じであろうかと思えます。小見川の方につきましては元々バスがあつたりしたということで、そういった点での裕窮の度合いというのはあるのかなと考えるところでございます。まあ、条件的にはそれほど変わらないと思うのですが、最初の背景的な違いがあるのではないかなと考えているところでございます。以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい、お願いします。</p>
<p>八 角 委 員</p>	<p>小見川の八角と申します。 皆さんご存知かと思えますけれども、小見川のこの東南部は地形的な問題がまずあると思えます。今走っているバスの路線は例えて言えば馬の背中を走っているようなもので、この辺の地区の住民の人がもしこのバスに乗るとすれば、9割ぐらいの人は自宅から坂を乗るときは上がる、また降りたら下っていくというような地形もあると思えます。通勤は大切なことはもう十分承知だと思えますけど、年をとって実際自分が歩いていくとなれば、確かにバスに乗るだけでも一苦労だということは明白だと思えます。そういう理由ではないかと思えます。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p>議 長</p>	<p>そうですね、色々な要因があろうかと思えますが、今のバス路線がどれほど利便性が高いかと言うのも影響しているということなのではないかな、そういうご指摘なのかなと思えます。他にいかがでしょうか。</p> <p>無いようですので、このアンケートをどう受けとめるか、かなり難しい問題があるのかなと思えます。皆さま方もおそらくご意見がないわけではなくて、非常にこれをどう評価するか悩ましいところなのかなと感じます。そこでですね、いづれにしてもこのアンケートの結果を踏まえて元々の案のとおりそのままやっついていのかどうかというところかと思えますが、事務局の方で考えている提案と言うか、案について説明いただきたいと思えますがいかがでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>はい。前回の協議会では資料1の6ページ、7ページにございますように、佐原と小見川の2つの地域でタクシーを2台ずつの4台で試行を行う案をお示ししておったところなのですけれども、事務局でアンケート調査結果を受けまして1地域に絞った案を作成してみましたので、それをご説明させ</p>

<p>議 長 事 務 局</p>	<p>ていただければと思います。資料をお配りしますので少々お待ちください。</p> <p>はい、では説明をお願いします。</p> <p>はい。先程の資料1の6ページのところにアンケート調査から求められる課題と言うことで、今の循環バス利用者の方に対して段階的に理解を得ていくということも必要なのかなということ、十分な配慮が必要なのかなと。もう一つは、やはり税金の投入と言うことで厳しい意見があったというところで、コストを低減するということがアンケート調査結果から求められていると考えまして、今お配りしました資料になりますが、試行の区域を1区域に限定しまして、そこからまずは試行を行うという案をつくらせていただきました。先程アンケート調査結果、円グラフの方をご覧いただきましたけれども、佐原と小見川では今のバスの利用者の方の利用の意向としまして、小見川の地域の方が乗合タクシーを利用するという回答が多かったということと、潜在的な交通弱者と見られる方につきましても、小見川の方が高かったというその結果を受けまして、小見川の1地域を選定して案を作っております。経費なんです、1地域に絞ることによりまして、前回の協議会ではITシステムを導入するという、保守管理の委託料が組まれておったのですが、その分を削減することができまして、結果としまして前回では約740万円の経費増になると見ていたところなんです、それを圧縮することがこれによりできると。約290万円の経費が圧縮できるということで、小見川だけから試行を開始するという案を作らせていただきました。2ページ目以降につきましては、前回提示させていただいた案を小見川だけにしまして見直した案でございます。一通り簡単に説明させていただきますと、事業主体につきましては香取市。運行区域につきましては小学校の区域を単位としまして、中央小、東小、南小の通学区域ということで作成しました。乗降場所につきましては前回と大きくは変わっていませんが、共通乗降場所を設定して公共施設等に限定することでタクシー会社への影響にも一定の配慮をしまして、共通乗降場所32カ所を選定する案を作成しております。前回と変わっているところを申し上げますと、病院で休院の状態になっている病院が1つありましたのでそれを1つはずさせていただきまして、あと公共施設で小見川支所の所に複合施設としまして「いぶき館」という形で4月から開館されるという予定になっておりますので、それをまとめて「いぶき館」として記載させていただきました。3ページ目ですが、車なんですけども、小見川と佐原で2台ずつであったものを小見川だけと言うことで2台で最小限の経費で試行を行うと、経費を抑えるということで案を作成しております。あと前回の協議会でも若干ご指摘があったかと思うのですが、デマンド交通になることによりまして、今小見川高校生が小見川駅と城山公園の間をかなり利用しておりますので、その対応が問題になるところなんですけども、小見川地域、東南ルートと西ルートの2ルートでございますので、西ルートの方を工夫することによりまして小見川高校生につ</p>
----------------------	---

いては対応できるのではないかなと考えております。運行日につきましては平日のみと言うことで前回ご提示したものと変わっておりません。運行時間帯につきましては前回と変わっておりません。日中の時間帯に限定しまして民間のタクシ一等の区別等にも配慮しております。今、バスにつきましては8時以前、あと5時以降の便も若干ございますが、先程申しました西ルートの見直しですとかで対応できるかと。あと5時以降につきましては非常に利用が僅少ですので問題ないのかなと見ているところでございます。7番目、運行ダイヤでございますが、前回ご説明した時には1時間に1本の便設定のほか、受付を1時間前までにすることと特に便設定はしない、いわゆるフルデマンドと呼ばれる方式も有力なのかということでも検討していきたいと説明させていただいたところなんですけれども、小見川だけでの試行からまずは始めるといことで、ITシステムをそれであれば導入せずに運行できるのかなと言うことで、ITシステムを導入しないとすということであればその中で乗合率を高めて効率的な運行とすということを考えますと、1時間に1本の便設定をすという形で運行することが適当なのではないかなということ記載させていただいております。次に運賃でございますが、現行の循環バスは大人300円と言うことなんですけれども、それより利便性が上がるということと400円と記載させていただいたのは前回の協議会で運行イメージとして提示させていただいたものと変わっておりません。ただ小学生と障がい手帳保持者、こちらにつきましては前回今の循環バスと同じく無料でどうかということを書かせていただいておりますが、利便性が向上しますので100円ですが負担をいただいたらどうかということ記載させていただいております。また現在の循環バスで回数券を作成しておりますので、同じく回数券を作成したらどうかと言うことで案として記載させていただいております。4ページ目になりますが、利用者につきましては香取市民に限定するということ、次の10番目の予約期限は前回と同じく1時間前までの予約と言うこととを考えております。これであればITシステムを導入しなくても予約をまとめて運行することができるのでないかなと考えております。受付ですけれども、これも前回の協議会で若干話題になったかと思うのですが、タクシー会社さんで電話の受付をしていただくということも検討したんですが中々従来 of 民間事業をやりながらということとは難しいのかなと言うことで、引き続き市で臨時職員を雇用して受付をしまして、その受付の内容をタクシー会社にFAX等になるかと思いましたが送信させていただきまして、それをタクシー会社で具体的にタクシーに無線で連絡していただくというような形をとることを考えております。これによりましてITシステムを導入しないでコストを抑えた運行としたいと考えております。運行契約・契約方式等につきましてはこれはプロポーザルになるかと思っておりますけれども、その中で事業者提案も受けながら考えていくことになるかと思っておりますが、基本としましては定額での車両借上げということとやっはどうかというところで案とさせていただいております。最後ですが試行期間につきましてはやはり1年程度は効果の検証等には必要か

	<p>ということで、これについては前回と同じ1年とさせていた だいております。スケジュールにつきましてはITシステム を導入しないということで、その分を省きまして今回3月の 協議会で協議が整うということでご承認いただければ10月 から運行することができるのかなと言うことでスケジュール をまとめてございます。一通りご説明させていただきまし たが、1地域の試行としましてさらにITシステムを導入しな いということで経費を抑えた段階的な試行ではどうかと言 うことで作成した案になっております。事務局からの説明と しては以上となります。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今事務局からご説明がありましたとおり、アンケート の結果を踏まえてどう検討するかと言うのは非常に難しい ですが、市の方では特にニーズが強いとはっきり出ている小 見川で段階的な試行と言うことでまずやってみたらどうか と、佐原の方についてはそういう意味ではまず第1弾で選ぶ ところからは外して現行の循環バスの運行をもう少し続け たらどうかというようなお話でございます。</p> <p>それではこの点について、ご質問、あるいはコメント等 ございましたら頂戴したいと思っておりますがいかがでし ょうか。どんなことでも結構ですので確認事項などござい ましたらおっしゃっていただければと思っておりますが。</p> <p>はい、では岩崎さんお願いします。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>いくつか確認をさせていただきたいのですが、最初にです ね、今の個別配布されました3ページの(8)で運賃でござ います。2点ございます。1点目が小学生。全体的には値上 げということになります。で、バスよりも便利になるんだか らというところはわかります。ただ小学生の無料を100円 と言うことになると親御さんの負担も増えるのかなと思っ つつ、一方で小学生の利用って今までコミバスでそんなにあ ったのかなというところがちょっと気になります。と言うのが 1つ。もう1つ、それから障がい者の意でございしますが、 これはいわゆる精神障害の方も含まれるという理解でよろ しいでしょうか。2点です。</p>
<p>議 長</p>	<p>今の2点についていかがでしょうか。</p> <p>1つ目は小学生の利用が今どれくらいあるのかというこ とが1つ。もう1つは障がい者の範囲ですね。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>はい。小見川の方につきましては小学生はほぼ乗ってい ないものと見ております。あと精神障がい者につきましては現 在の循環バスと同様、障がい者に含むものとして考えてお ります。以上でございます。</p>
<p>議 長</p>	<p>他にいかがでしょうか、皆さん。</p> <p>はい、どうぞお願いします。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>資料4ページでございます。(12)でございます。運行 契約につきまして今事務局の方から市内タクシー事業者へ委</p>

	<p>託でプロポ方式になるかなというご発言でございましたが、これは国補助を受けることになりますので、必ず企画競争で事業者を選定していただくようお願いをしたいと思います。それから併せて事業者さんのお話でございますが、その委託契約の内容、プロポの内容の中で、当該運行する事業者さんにつきましては道路運送法の4条というのがありますが、その4条許可事業者であることというのを入れていただきたいと思っております。これが補助の条件となっておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい。ありがとうございました。 その点、国の手続きをちゃんと満たさないといけませんので、よろしくお願い致します。他にいかがでしょうか。 はい、お願いします。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>千葉県の交通計画課です。 4ページの受付なんですが、電話で予約と言うお話でございましたが、例えば耳の悪い方とか障がいのある方、そういった方というのはどのような形で対応するおつもりなのでしょうか。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい、その点いかがでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>まだその細かいところまで詰めていませんけれども、FAX等の利用が可能であればそういったことでの対応、あるいはご家族での対応をお願いするですとか、そういったことで申し込み時に若干聞き取りながら対応できればと考えております。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>はい、ありがとうございます。 あともう1つお聞きしたいのですが、オペレータ業務の人員費なのですがこちらにつきましては圧縮することはできないのでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>当初は全く新規で始まりますので、常時2人ぐらいいないといけないかと今考えていますけれども、熟練してきた場合には1人でも対応可能だったりすることもあるかと思っておりますので、その辺は適宜対応していきたいと考えているところでございます。以上です。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 はい、どうぞお願いします。</p>
<p>岩 崎 副 会 長</p>	<p>今の轟委員のご質問、もっとも的のところもありつつですね、オペレータ業務というのは非常に実際電話を受けてどうやって順番良く配車するかということ。配車もそうですし、配車と同時に迎えと言うのもデマンドの場合こう1週やってますからここは迎えに上がって、途中今度は降ろしたり</p>

	<p>受けたりですとか、非常に複雑な配車計画を立ててそれを1時間前までに整理をしてFAXを出すということで、非常に熟練した方が必要かなと思っております。そうなるくと圧縮どころかプロなので、それなりの経費を払ってあげないといけないのかなとも一方で思います。その点、じゃあ東大システムが入っている場合についてはどうなのかということで、機械化の方が楽なのか。決して私は東大のシステムがここで必要だと言っているのではなくて、オペレーターさんだけを考えた場合、東大のシステムの方が楽なかなと思いつつ、じゃあその東大のシステムを入れている千葉交さんが成田で実証も実際にしておりますので、その点ちょっとどのくらい大変なのか、ここで2人となっておりますけれども本当に2人で足りるのかどうか、実際に運行している千葉交さんに教えていただきたいなと思っております。</p>
<p>議長</p>	<p>すみません。藤田さんお願いしてもよろしいですか。急に申し訳ないです。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>千葉交タクシーです。 現在成田地区で成田の北の地域だけで今現在運行しているのですけれども、高齢者、70歳以上の方を対象にして今現在600人強の人が登録してそれを配車しているのですけれども、4月1日からこれが全地域に広がって、今現在の車両数が3台から7台に増えるんですけれども、これにあわせてオペレータの数も2人またさらに採用してやるんですけれども、現在は東大のオンデマンド方式でやっているんですけれども、今使っている会社さんのやつだとちょっと、本当に今使っている現状の中では不具合と言うかというのがありまして、もう1社参入してくれましてその会社が今度選定されたのですけれども、そちらのソフトの方がかなり進んでいて、現実的にはそういう場合もあります。ですけれども、これが人だけを介してやるとなると、先ほど岩崎専門官さんが言っていたとおりかなり熟練した人がやらないと正直言ってできないですよ。例えば成田の全地域と言うとかなり広範囲の中で、実際問題7台では計算上は回らないようなんですけれども、これには交通事業者がありまして、やっぱりバスとかタクシー会社なんかがありまして、結果的に競合するということで7台という台数も限定してやっているものですから、現実的にこれが本当にうまく回るかどうかは実際4月1日から運行してみないとわからないんですけれども、これを機械を入れないでかなり広範囲の所をやるとなると2人のオペレーターは必要だと思えます。でないと、よほど熟練して慣れている人がそこに携わればできますけれども、もしこれ慣れていない人が2人でやったら失敗すると思えます。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。千葉交タクシーさんが成田でやっておられるのは3月までの分は東大方式のシステムを使っておられて・・・。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>東大でも方式が違うのですけれども、そのソフトを扱っている会社さんが今まで順風路さんという会社だったのですけど</p>

<p>議 長</p>	<p>も、その中でも競争がありましてコガソフトという新しくできた会社なのですが、そちらの方が比較すると取り扱いやすいということで、同じ方式なのですがでも実際運用すると多少違いがある。そういうのも市の方で協議しながら選定したというのがあります。</p> <p>ありがとうございます。香取市の場合はエリアは多少絞っていますが、それでもシステムを入れないでやるということで今臨時職員を2人ということですが、本当は全くの素人2人ではダメなんじゃないかということですよ。ありがとうございます。ちょっとその点も踏まえて、何れにしましても詳細は詰めていく必要があるのかな、そのように思います。他にいかがでしょうか。</p> <p>よいでしょうか。他にないようでしたらこのアンケート結果を踏まえてどのように持って行くか、中々悩ましい部分ではあるのですが、まずは段階的な試行と言うことで小見川の循環バスで現在の東南ルートで地域でまずは試行をやってみよう。それで色々実際にやるにあたっては先ほどのお話が色々ありましたとおり、やり方とか、実際どういう人がどういう体制、どういう対応でやるかと言う辺りも中々しっかり見ていかないとこれは失敗しないように相当気を付けないといけないよということでもあります。大きな方向としまして今日資料にございます運行計画の案の内容で試行を行うということよろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。よろしければ運行形態の案のとおり小見川地域で試行をやるということで結論付けさせていただきます。また、先ほど個別実際の運行の仕方などについてご指摘いただいておりますけども、更に研究を進めていって何か皆さま方がお気づきの点があれば随時できる限り早めに色々教えていただければ、更に市の方でも検討をして参りたいと思っておりますのでその点お願いしたいと思います。それではこの案につきまして認められたということで今後デマンド交通の試行に向けて具体的な事務作業に入っていくことにさせていただきます。</p> <p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について</p> <p>では続きまして、議事の(2)地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 長</p>	<p>【確保維持改善事業の事業評価について説明】</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それではただ今のご説明につきまして、ご意見やあるいはご質問などがございましたら頂戴したいと思いますがいかがでございましょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。こちらは今やっている循環バスが予定どおりバスを運行していて当初想定した目標どおりは乗っ</p>

	<p>ていただいているという。まあ、結果ではございますけども。しかしそれでは中々ニーズに答えきれてないからと言うことでデマンドの話は今させていただいているということです。この事業評価自体は目標どおり進みますよということであるので、これなのかなと思っております。</p> <p>それでは特にないようでしたら、事業評価案については承認されたということによろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。それでは事業評価につきましてはこの案で国の方に提出していくということにさせていただきます。</p> <p>それでは本日予定された議事は以上でございますが、他に本日の内容全般についてでも、あるいは今後のことに関してでも、ご意見やご質問などがございましたら頂戴したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>それではないようですので、最後に事務局から何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>お忙しいところ、熱心にご議論いただきましてありがとうございます。今後デマンド交通の試行導入等、今後着実に事務作業の方を進めさせて頂きたいと思っております。また、机の上にFAXなどで送付していただく用紙を配布させていただきましたので、今後とも何かお気づきの点等ございましたら事務局の方にお寄せいただければ幸いです。事務局からは以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。では、もし何かございましたら事務局の方へどんどんお気づきの点をおっしゃっていただければ受けたまわらせていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。</p> <p>以上で本日の議事は終了いたしました。これを持ちまして事務局にお返しさせていただきます。皆さま方、ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>4 閉会</p> <p>会長、長時間ありがとうございました。それではこれで第12回協議会を閉じさせていただくわけなのですが、予定でありますと、次回の協議会は6月に予定をしております。事前に連絡等させていただきますけども、今後ともどうぞよろしくお願いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>

会議の名称 第12回香取市地域公共交通協議会
開 催 日 平成25年3月21日(木)

出欠席者名簿

委員氏名		出欠
会長	八木 貴弘	出席
副会長	岩崎 英一	出席
委員	伊藤 昌央	出席
委員	花崎 幸一	出席
委員	高橋 實	出席
委員	藤田 信一	出席
委員	鵜澤 尚夫	出席
委員	橋本 定廣	出席
委員	渡辺 道彦	出席
委員	田谷 志郎	出席
委員	飯田 謙二	出席
委員	古橋 守雄	出席
委員	高橋 聖	出席
委員	松川 忠史	出席

委員氏名		出欠
委員	八角 和爾	出席
委員	林 浩美	出席
委員	本宮 敏雄	出席
委員	菅井 國郎	出席
委員	中田 太治	欠席
委員	菅谷 長藏	欠席
関係職員	寺島 雄一	出席
関係職員	瀬宮 洋嘉	出席
関係職員	土戸 貞美	出席
関係職員	石田 清隆	出席
関係職員	大堀 常昭	出席
関係職員	高岡 茂	出席
関係職員	宮崎 誠悦	出席
関係職員	石毛 義則	出席
関係職員	澁谷 武男	出席

出席 27人 ・ 欠席 2人

香取市地域公共交通協議会 委員名簿

(平成25年3月21日現在)

No.	役割	氏名	所属団体及び役職名
1	会長	八木 貴弘	香取市副市長
2	副会長	岩崎 英一	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局首席運輸企画専門官
3	委員	伊藤 昌央	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長
4	委員	花崎 幸一	社団法人千葉県バス協会 専務理事
5	委員	高橋 實	北総自動車株式会社 代表取締役
6	委員	藤田 信一	株式会社千葉交タクシー 常務取締役
7	委員	鶴澤 尚夫	千葉交通株式会社 常務取締役
8	委員	橋本 定廣	関鉄観光バス株式会社 専務取締役
9	委員	渡辺 道彦	ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長
10	委員	田谷 志郎	東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅 駅長
11	委員	飯田 謙二	千葉交通労働組合 書記長
12	委員	古橋 守雄	千葉県香取土木事務所 所長
13	委員	高橋 聖	香取警察署 交通課長
14	委員	松川 忠史	市民（佐原地区）
15	委員	八角 和爾	市民（小見川地区）
16	委員	林 浩美	市民（山田地区）
17	委員	本宮 敏雄	市民（栗源地区）
18	委員	菅井 國郎	香取市社会福祉協議会 事務局長
19	委員	中田 太治	福田線バス路線をまもる会 会長
20	委員	菅谷 長藏	香取市高齢者クラブ連合会 会長
1	関係職員	寺島 雄一	総務部長
2	関係職員	瀬宮 洋嘉	企画財政部長
3	関係職員	土戸 貞美	市民福祉部長
4	関係職員	石田 清隆	経済環境部長
5	関係職員	大堀 常昭	建設部長
6	関係職員	高岡 茂	教育部長
7	関係職員	宮崎 誠悦	小見川支所長
8	関係職員	石毛 義則	山田支所長
9	関係職員	澁谷 武男	栗源支所長
1	事務局	林 高志	企画財政部企画政策課長
2	事務局	宇井 正志	企画財政部企画政策課企画調整班 班長
3	事務局	石毛 貴光	企画財政部企画政策課企画調整班 主査
4	事務局	菅谷 和之	企画財政部企画政策課企画調整班 主査